

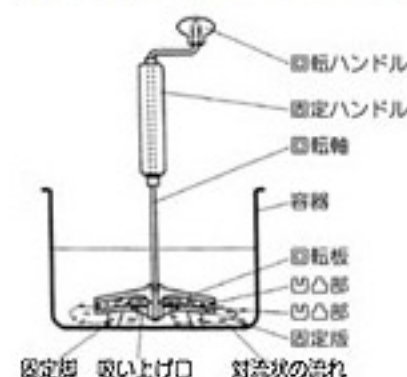
研ぎむらを生じない米研ぎ器

概要・品質・性能

下部の固定板と上部の回転板に凹凸部を設け、互いの凹凸部を対向させて組み合わせ、回転ハンドルで回転板を回転させ、凹凸部に米を通過させて研ぐ仕組み。

固定板の中心に穴（吸い上げ口）が設けられ、穴から米を吸い上げ、固定板端部から米を排出する。固定板には脚部が設けられ、容器の底と固定板の間を米が通過し、容器内に対流状の流れが起こる。

容器を損傷することがないため、炊飯器の内蓋で米を研ぐことができ、手間がかからない。



用途

(1) 米研ぎ

技術移転

- (1) 形態 特許実施権供与
 (2) 相手先 台所用品メーカー
 (3) 地域 国内・海外いずれでもよい

実用化・情報

[試作・実験] 未了
 [製造・販売実績] 無し
 [技術情報の提供] 技術資料
 [情報提供者] キムラ電子製作所
 木村 正明
 [連絡先] (財)りそな中小企業振興財団 事務局
 TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許等

出願人：木村 正明
 出願番号：特願2004-95578
 出願日：平成16年3月29日